

日時：2017年12月16日（土）15:00～18:00

場所：東洋大学 白山キャンパス 8号館 7階 125 記念ホール

出席：渡邊芳之理事長、藤田主一副理事長、尾見康博、加藤 司、松田英子、荒川 歩、  
山崎晴美、中村 真

欠席：小塩真司（審議事項を理事長に委任）、北村英哉（審議事項を理事長に委任）

## 日本パーソナリティ心理学会第126回常任理事会

### 報告事項

#### I 理事長挨拶

#### II 各種委員会報告

※今回は、学会賞選考委員会からの報告事項は特になかった。

#### 1 機関誌編集委員会（加藤委員長）

##### (1) 第26巻第3号以降

加藤委員長より、採択論文を随時、J-STAGE にアップ中であるとの報告があった。また、第26巻3号については、17本（原著10本、ショート7本）確定済みであるが、印刷に間に合うかどうかによって、一部は、27巻第1号に掲載となるかもしれない旨の報告があった。

##### (2) 審査状況

月	採択	審査中	修正中	不採択	取下	投稿数
1	4	9	10	1	0	3
2	1	14	8	0	0	6
3	1	12	12	2	0	5
4	3	17	11	0	1	14
5	2	25	6	1	3	8
6	2	20	13	6	1	10
7	4	18	13	5	1	7
8	2	13	15	2	0	4
9	3	18	10	2	0	4
10	4	12	19	1	0	2
11	3	19	9	3	1	13

加藤委員長より、投稿数は徐々に増えており、採択率は高いとの報告があった。また、現在はすべての掲載論文が早期公開になっているとの報告があった。

### (3) J-STAGE のシステム利用料値上げに関して

加藤委員長より、平成 30 年度以降、自己負担上限額年間 48,500 円（予定）に値上げとなる旨の説明があった（会員数 1000 名以下）。審議の結果、来年度よりこの基準額で予算立てを行うことが承認された。

### (4) 大会抄録電子版の J-STAGE への移行について

加藤委員長より、移行案が示された。審議の結果、抄録を大会ごとに PDF 化してアップすること、費用は 1 大会あたり 35,000 円程度であることが承認された。今後、加藤委員長が、まだ移行が行われていない大会抄録について手続きを進めることを申し合わせた。

## 2 経常的研究交流委員会（荒川委員長）

### (1) 第 2 回パーソナリティ心理学コロキウム（案）

荒川委員長より、2018 年 3 月 29 日～3 月 30 日に実施予定の 3 つのコロキウムについて、趣旨、演者、内容、予算について説明があり、審議の結果、承認された。

コロキウム 1：心理学教育、アクティブラーニング vs 一斉授業（仮）

コロキウム 2：道徳における人格教育×パーソナリティ

コロキウム 3：AI×パーソナリティ

尾見財務担当常任理事より、年度末開催につき、交通費の請求などを迅速に行うように前もって準備をお願いしたいとの要望があった。

### (2) 尺度の紹介について（ツイッター班の企画）

荒川委員長より、ツイッター班で尺度紹介を検討しているとの報告があり、これについて以下の意見があった。タイトルと著者名だけの紹介であれば問題ないが、コメントを併記するような場合は、少なくとも著者の承諾を得ることが必要（渡邊理事長）。尺度掲載については、商業利用を目的とする人が見ることを前提に、著作権に関する情報を併記するような配慮が必要（渡邊理事長、中村事務局長）。

### (3) プラットホーム企画

荒川委員長より、同企画の状況について報告があった。渡邊理事長より、学会の予算を使用するのに相応しい企画にしたいとの意向が示され、これを踏まえて引き続き検討していくことを申し合わせた。

## 3 広報委員会（松田委員長）

### (1) 活動報告

ウェブサイトの更新、メールニュースの配信などの活動内容が報告された。

### (2) 委員業務分担

web ページ、メールニュース、web サイト外部委託の各業務について委員の役割分担の報告があった。

### (3) web サイト外部委託進捗状況

3 社に依頼した見積書について審議した結果、チェロトーン社に外注することを決定した。来年度、国際文献社にウェブ方式を委託したうえで役員選挙が行われること（現在の HP のマイページからアクセスして投票を行う方式であること）を考慮して、ウェブページをチェロトーン社に完全移行して新しいページを立ち上げるのは、選挙事務が完全に終了した 8 月 1 日をめどに行うこととし、27 回大会総会において理事長がウェブページリニューアルを高らかに宣言できるようにすることを申し合わせた。

### (4) YPP2018 について

実行委員会のメンバーについて、以下の通り、報告があった。

沼田真美（代表、筑波大学 D2）、赤松大輔（名古屋大学 D1）、古賀佳樹（中京大学 M2）、唐音啓（東京大学 M2）

#### 4 国際交流委員会（小塩委員長が欠席のため中村事務局長が口頭で代理報告）

27 回大会では大会主催校が海外ゲストを招聘する手続きを進めており、現在、国際交流委員会としてどのようなサポートができるかを主催校と相談中であるとの報告があった。

#### 5 学会活性化委員会（山崎委員長）

##### (1) 優秀大会発表賞について

第 26 回大会優秀大会発表賞の審査結果一覧が示され、審議の結果、得点上位 3 件を優秀大会発表賞とすることを決定した。今後、山崎委員長が受賞者に連絡を取り、受賞を受けるかどうかについて意思を確認したうえで手続きを進めることを申し合わせた。第 27 回大会では、優秀大会発表賞を新たな方式（抄録にて一次審査を行い、二次審査対象者に大会前にポスターを提出させて二次審査を行う）にする予定であり、詳細を 1 号通信で告知することを学会活性化委員会から主催校側に申し入れることを確認した。

##### (2) 20 周年記念事業について

第 26 回大会にける記念シンポジウムの実施報告および学会ロゴマークの募集（応募状況）について報告があった。

##### (3) 大会ハンドブックについて

26 回大会終了後に、第 27 回大会主催校あてに大会ハンドブックと第 26 回大会の記録を送付したとの報告があった。

## III 日本心理学諸学会連合

### 1 日心連理事会について

特になし。

### 2 心理学検定について

特になし。

#### IV 第26回大会実施報告

詳細は、審議事項に掲載。

#### V 第27回大会日程

渡邊理事長より、2018年8月26日(日)・27日(月)立命館大学大阪いばらきキャンパスで開催が決定したとの報告があった。併せて、渡邊理事長より、開催時期が日本応用心理学会の大会(2018年8月25日～8月26日)と一部重複することに伴い、理事会、総会のスケジュールに変更が生じる可能性があり、今後検討したいとの意向が示された。

#### VI その他

特になし。

#### 審議事項

##### I 福村出版との論文校閲契約の締結と校閲料改定について(渡邊理事長)

渡邊理事長より、機関誌の和文校閲を福村出版に破格の値段で受けてもらっている(1ページあたり500円)との現状が報告された。故安藤典明先生の後を受けて、この値段で引き受けて下さっているが、2年が経過した。福村出版とのあいだで明確な委託契約も存在しておらず、今後も、福村出版に継続して校閲をお願いしたいので、これを機に正式な校閲契約を結びたいとの意向が示された。審議の結果、1ページ900円+税にお願いする方向で契約を結ぶこと、契約は年度ごととし、具体的な交渉は、渡邊理事長に一任することが承認された。

##### II 財務関連事項(尾見財務担当常任理事)

2018年度予算については、尾見財務担当常任理事から提出依頼があり次第、対応することを申し合わせた(提出先は、国際文献社)。これに関して、尾見財務担当常任理事より、来年、執行部が入れ替わることを視野に入れて予算を計上してほしい、また、同じような内容の企画が複数の委員会において立案・執行されている現状を改善するために、次期執行部においては、委員会統合の検討を始めてほしいとの要望が出された。

渡邊理事長より、将来的に統合する可能性がある委員会においては、そのことを視野に入れて予算を計上してほしいとの意向が示された。荒川常任理事より、この場で統合について言及できないかとの意見があり、これに対して、渡邊理事長より、委員数を減らすこと、院生が委員になっている現状をできるだけ改善したい、また、委員会の統廃合については、関係各位の意見(実際の仕事の内容や分担など)を聞きながら慎重に検討したいので、この場では決められないとの見解が示された。

##### III 第26回大会の収支について

第26回大会準備委員会から提出された収支報告について審議を行い、赤字が生じたことに関連して、細かな支出内訳書の提出を求めることを申し合わせた(次回の常任理事会で再審議を行う)。併せて、今後の大会主催校には、収支に関して慎重に運営するように働きかけることを申し合わせた。

#### IV 来年度の役員選挙について

理事長、副理事長、事務局長で日程および会員への告知方法を検討し、手続きを進めることを申し合わせた。

#### V 来年度の名誉会員推挙について

渡邊理事長より、次回の常任理事会で審議にはかりたいので、推薦したい方を挙げていただきたいとの依頼があった。

#### VI 第125回常任理事会議事録の件

審議の結果、同議事録案が承認された。

#### VII 会員の入退会に関する件

事務局より別紙の通り、新入会希望者12名（うち7名はML審議にて承認済み）の一覧が示され、審議の結果、承認された。今回は退会希望者なし。併せて、宛先不明者について報告があった。

以上の承認を受けて、2017年12月8日現在、会員総数は948名である。内訳は、一般会員677名、院生会員256名、学生会員4名、名誉会員8名、賛助会員3名。

※今回審議対象の新規入会希望者5名は含まれない。

また、2015年度～2016年度の会費未納にともなう自動退会予定者28名について審議を行った結果、2017年3月31日付での退会が承認された。

#### VIII その他

特になし。